

第4号様式

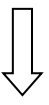
指定管理業務評価表

施設名	市民文化会館キラリふじみ	令和 6年度	事 業 報 告
指定管理者名	公益財団法人キラリ財団		
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	所管課	協働推進部文化・スポーツ振興課

自己評価…指定管理者 所管評価…市（施設所管課）

1 業務の実施体制	個別評価項目	確 認 基 準	自己評価	所管評価	施設所管課評価意見
	人員体制	事業計画書どおりの人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者（代理する者）が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用許可や施設案内等を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		名札を着用し、業務遂行にふさわしい服装となっている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、態度などの接遇は適切である。	A	A	
		事業計画に即し、職員研修を計画的に実施している。	A	A	
	法令等遵守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備され、個人情報の漏洩、滅失等の対策を講じている。基本協定書の個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A	
	情報公開	情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。	A	A	
	報告書の提出	定期報告書、事業報告書を期限内に提出している。	A	A	
	安全、緊急対策	事故・災害等緊急時のマニュアルがあり、訓練が実施され、連絡体制や対応体制ができている。また、事故等があった場合、適切な対応が行われ、報告が市にされている。	A	A	
		事故防止及び安全確保（避難通路の確保等）のために施設や設備の目視や点検を行い、常に施設や設備の状況を把握している。	A	A	
2 業務の内容・水準	維持管理	条例等の規定に基づき開館日、開館時間を遵守している。	A	A	
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理し、利用者が快適に利用できているか。	A	A	
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A	
	事業運営	事業計画書に即し、自主事業を実施している。	A	A	
		事業内容が利用者サービスの向上に寄与している。	A	A	
		地域や他施設との連携に努めている。	A	A	
	利用者アンケート	利用者の要望等の把握方法は適切である。	A	A	
		要望等の対応策は適切である	A	A	
	利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	A	A	
	管理記録	業務日誌を適切に整備、保管している。	A	A	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
	環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A	
3 収 支 等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は適正である。	A	A	
	経費縮減	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	A	A	
総合評価			A	A	
成果・課題等	（自己評価） 今年度任期最終年度をむかえた白神ももこ芸術監督の下、多種多様なジャンルのアーティストが加わり、演劇、ダンス、音楽公演等、高い芸術性を併せ持ったオリジナル作品を提供をしてまいりました。特に3月に実施した「Open the Door-ダンスの時間-」では白神芸術監督としてのこれまでの活動を総括する事業として多くの方に鑑賞いただく機会を創出することができました。また「サーカス・バザール」や「ふじみ大地の収穫祭」の大きなイベントでは、多くの市民やアーティストと協働して事業を展開することで来場者及び参加者数の拡大に繋げることができました。更に市内小中学校へのアウトリーチワークショップの実施、「キラリふじみダンス・カフェ」等の企画においても、子どもや若い世代を育む場、障がいのある方等、様々な違いを持つ市民が出会い交流できる場として充実させることができました。施設の維持管理では持続的かつ計画的な保全業務に努め、市民が安全に利用いただくための整備を行い、適切な施設管理に努めることができ、令和7年度より開始する大規模改修工事においては計画段階から市と一体となり効率的かつ有意義な協議を行うことができました。今後も事業運営及び施設管理においても関係各位と緊密に連携し管理運営してまいります。				
	（所管評価） 令和6年度も様々な工夫をして施設運営を行い、快適な施設づくりを心掛け修繕を多数実施した。そのため、利用者にとっても、来場者にとっても良い環境を整え、多くの文化芸術事業を行うことができたと評価している。そして、令和6年度は学校アウトリーチ事業の実施回数も増え、多くの児童・生徒にも文化芸術に触れる機会を提供することができたと考えている。加えて、本公演への来場が難しい未就学児を持つご家庭や障がいのある方々をリハーサルへ招待し、鑑賞する機会を継続的に提供している点も評価したい。また、職員研修や防災訓練等を数多く行い、職員だけでなく一部業務委託のスタッフにもキラリふじみでの接遇や災害時の対応を知ってもらう機会を設けた。この取り組みは今後も続けていっていただきたい。開館から23年目となり、12月から大規模改修工事の実施を予定しているため、休館中の対応や工事の対応を含め、適切な対応と運営をお願いしたい。				

※評価区分

①	個別評価	AA（優 良）＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。 A（良 好）＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。 B（問題含）＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。 C（要改善）＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
		
②	総合評価	AA（優 良）＝個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。 A（良 好）＝個別評価がすべてA以上である。（上記以外） B（問題含）＝個別評価がすべてB以上であり、Bの割合が1割未満である。 C（要改善）＝上記以外